著作典拠データ作成にあたっての「国書データベース」との調整手順

平成 23 年 11 月公開
令和 7 年 10 月更新

著作典拠データの作成（修正）にあたって，国書データベースの著作について，著者名に疑義がある場合は，以下のとおり，国文学研究資料館あてに連絡してください。
（以下，国書データベースとの異同を発見した参加館を「発見館」とします。）

1) 発見館は，NACSIS-CAT の著作典拠データを作成（修正）します。
HDNG→疑義がある点は，訂正の上，記述します。
国書データベースの著作 ID は，KOTEN:＊＊＊＊として記述します。
NOTE→「国書データベースと異同があるため調整中」と記述します。

2) 発見館は，国文学研究資料館の担当部署に，手元の資料と国書データベースの内容に異同がある旨の連絡を行います。
連絡の際に必要な項目は，以下のとおりです。

・国書データベースの著作 ID（WID）および統一書名
・異同があると思われる内容
・根拠/情報源（メールの PDF/画像ファイル添付もしくは別途 FAX 送付）

連絡先：国文学研究資料館 学術情報課 メタデータ係
E-Mail：qa-kote[at]nijl.ac.jp　[at]を@に変えてください。
FAX：042-526-8606
※原則として，E-Mail で連絡。

3) 国文学研究資料館で，内容の確認を行います。
調査等が必要な場合もありますので，国書データベースの修正を行うか否かを決定し，実際の修正を行うまでは早くても 3 か月程度かかりますのでご注意ください。
修正を行うか否かについては，決定次第，国文学研究資料館から，発見館に連絡があります。

4) 国文学研究資料館からの連絡後，発見館は，NACSIS-CAT の著作典拠データの修正を行います。

① 調整の結果，国書データベースが修正された場合
発見館は，NACSIS-CAT の著作典拠データの NOTE から「国書データベースと異同があるため調整中」の記述を削除します。

② 調整の結果，国書データベースは現状維持となった場合
発見館が判断の上，以下の a) b) いずれかの作業を行います。

a) NACSIS-CAT の著作典拠データから，HDNG に記述した KOTEN の ID（KOTEN:＊＊＊＊） および NOTE の「国書データベースと異同があるため調整中」の記述を削除します。

b) NACSIS-CAT の著作典拠データから，HDNG に記述した「著者」の記述を，国書データベースに合わせた形に修正します。また，NOTE の「国書データベースと異同があるため調整中」の記述を削除します。

なお，国書データベース著者名が誤っている可能性が高いが，同定しがたい場合は，発見館は HDNG に KOTEN ID は記述せずに著作典拠データを作成（修正）してください。この場合，国文学研究資料館に連絡する必要はありません。